

第10回南海地震四国地域学術シンポジウムのご報告

日時：平成28年1月21日（木）10:00～16:50

場所：サンポートホール高松 61会議室（高松市サンポート2-1）

主催：土木学会四国支部、京都大学防災研究所自然災害研究協議会四国地区部会

共催：四国5大学連携防災・減災教育研究協議会、国土交通省四国地方整備局

参加者：95名

研究発表に熱心に耳を傾けるとともに討議いただきました参加者の皆様に感謝申し上げます。

プログラム：

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-10:40 基調講演 「四国地震防災基本戦略の進捗」

10:45-12:00 セッションⅠ 「防災教育」5件発表

13:00-13:40 特別講演「The 2015 Nepal Gorkha Earthquake and Lessons Learned」

13:45-15:15 セッションⅡ 「被害想定・対策」6件発表

15:15-16:45 セッションⅢ 「事前復興・地域防災力」6件発表

16:45-16:50 閉会挨拶

※シンポジウム論文集は残部がありますので、3,000円で販売いたします。購入を希望される方は支部事務局までご連絡下さい。

<会場内の写真>



開会挨拶：土木学会四国支部四国ブロック南海地震研究委員会 矢田部龍一委員長



基調講演：「四国地震防災基本戦略の進捗」
四国地方整備局 林重延総括防災調整官



セッションⅠ「防災教育」
発表の様子



発表後は熱心に質疑応答が行われました